

事業事前評価表

国際協力機構東・中央アジア部中央アジア・コーカサス課

1. 案件名 (国名)

国名：キルギス共和国

案件名：道路維持管理機材整備場改善計画

The Project for Improvement of Workshops for Road Maintenance Equipment

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における道路セクターの現状と課題

内陸国であるキルギス共和国は物・人の移動の約 95%を道路交通に依存しており、総延長約 34,000km の国内道路網は国民の生活道路、また中央アジアと南西アジアを結ぶ域内交通手段との役割を担っている。同国の道路網の大部分は旧ソ連時代に建設されたが、1991 年の同国の独立後、経済の低迷などにより十分な資金手当てがなされず、道路の補修や維持管理が不十分であったため、現在道路の損傷の拡大や劣化が進行しており、円滑な物流のボトルネックとなっている。また、運輸通信省（Ministry of Transport and Communications。以下、「MOTC」という。）が所有する旧ソ連製の維持管理機材については、簡易な工具では対応できない故障が生じている。

MOTC は、以前は道路維持管理機材の日常的な小さな不具合に関する小規模整備のほか、機材の一部分解のみで対応可能な中規模整備を直接行っていたが、現在はメンテナンスのための機材が不足しているため、小規模整備のみを直接行い、中規模及び機材全体の分解が必要な大規模整備は民間整備工場に委託している。しかしながら、民間整備工場は MOTC の整備以外の業務も数多く抱えているため、MOTC の道路維持管理機材の整備対応に長期間を要する場合がある。このため、MOTC の保有する道路維持管理機材の 22.1%が整備中のままとされており、同国の道路維持管理に支障を来している。

このような状況から、かつて MOTC が行っていた道路維持管理機材の中規模整備を、MOTC が直接行うことで効率的に維持管理が実施できるよう、メンテナンス用の機材を整備することが喫緊の課題となっている。

(2) 当該国における道路セクターの開発政策における本事業の位置づけ及び必要性

同国政府は中期開発計画（2013-2017）の中で、重点分野の一つとして道路セクターを掲げ、周辺地域と国内の市場へのアクセスの確保を開発戦略の方向性として示しており、「道路維持管理機材整備場改善計画」（以下「本事業」という。）はこれに寄与する。

(3) 道路セクターに対する我が国及び JICA の援助方針と実績

本事業は、対キルギス共和国国別援助方針（2012 年 4 月）の重点分野である「運輸インフラ維持管理と地域間格差の是正」に合致し、対キルギス共和国 JICA 国別分析ペーパー（2014 年 11 月）においても、「運輸インフラ整備」が重点課題であると分析しており、本事業はこれらの方針、分析に合致する。当該セクターにおける協力実績としては、無償資金協力「ナリン州道路維持管理用機材整備計画」（2006 年）、「イシククリ州・チュイ州道路維持管理機材整備計画」（2010 年）、「オシュ州、ジャララバード州及びタラス州道路維

持管理整備計画」(2014年)、技術協力「道路維持管理能力向上プロジェクト」(2008年～2011年)等を実施しており、道路維持管理に関する機材整備や能力強化を支援してきた。

(4) 他の援助機関の対応

世界銀行、アジア開発銀行、イスラム開発銀行、中国政府、トルコ政府等が道路整備に対する資金協力を実施しており、そのうちイスラム開発銀行、トルコ政府が道路維持管理機材の整備を支援しているが、道路維持管理機材のメンテナンスに必要な機材については、これまで支援がなされていない。

3. 事業概要

(1) 事業の目的

本事業は、キルギス共和国国内において MOTC が管轄する道路維持管理局に対して道路維持管理機材の中規模整備に必要な機材を整備することにより、MOTC の保有する道路維持管理機材の効率的なメンテナンスを図り、もって MOTC の管轄する道路における効率的な道路維持管理に寄与するもの。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

キルギス国全土 (人口約 572 万人)

(3) 事業概要

1) 土木工事、調達機器等の内容

道路維持管理機材のメンテナンスに必要な機材 (油脂補給車 6 台、ディーゼルエンジン燃料噴射ポンプテスター 3 台等) 159 種類、計 951 台

2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

詳細設計及び調達監理 (ソフトコンポーネントなし)

(4) 総事業費/概算協力額

総事業費 4.76 億円 (概算協力額 (日本側) : 4.41 億円、キルギス共和国側 : 0.35 億円)

(5) 事業実施スケジュール (協力期間)

2016 年 4 月～2017 年 9 月を予定 (計 18 ヶ月)

(6) 事業実施体制 (実施機関/カウンターパート)

運輸通信省 (Ministry of Transport and Communication: MOTC)

(7) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類 : C

② カテゴリ分類の根拠 : 本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」(2010 年 4 月公布) 上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

2) 貧困削減促進 : 特になし。

3) 社会開発促進 (ジェンダーの視点、エイズ等感染症対策、参加型開発、障害者配慮等) : 特になし。

(8) 他事業、ドナー等との連携・役割分担

特になし。

(9) その他特記事項

特になし。

4. 外部条件・リスクコントロール

(1) 事業実施のための前提条件

MOTC が機材設置先となる建物の改修、整備を機材納品時まで完了する必要がある。また、道路維持管理のメンテナンスに必要な人員が確保される必要がある。免税条項を含む G/A の議会批准は、コンサルタント認証前に完了する。

(2) プロジェクト全体計画達成のための外部条件

治安情勢が現状より悪化しない。

5. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

(1) 類似案件の評価結果

キルギス共和国「ナリン州道路維持管理機材整備計画」の事後評価結果等では、調達された機材はいずれも適切に活用され、対象道路の維持管理に貢献していることが確認されている一方で、ロシア語の機材維持管理マニュアルが整備されなかったことにより機材の修理等に時間を要したことが指摘されている。

(2) 本事業への教訓

本事業では、取扱い操作マニュアル及びメンテナンスマニュアルについては、ロシア語版を添付することとする。

6. 評価結果

以下の内容により本案件の妥当性は高く、また有効性が見込まれると判断される。

(1) 妥当性

本事業は、効率的な道路維持管理に資するものであり、先方政府の開発計画及び我が国の援助方針に合致している。また、更なる道路の損傷や劣化を防ぐため、可及的速やかに道路維持管理機材のメンテナンスに必要な機材を整備することが必要であり、無償資金協力として本事業の実施を支援する妥当性は高い。

(2) 有効性

1) 定量的効果

指標名	基準値 (2014 年実績値)	目標値 (2020 年) 【事業完成 3 年後】
MOTC 保有道路維持管理機材の休車率 ^(※) (%)	20.2	13.5

(※) 保有機材数に対する整備中の機材数の割合。基準値の算出の際には、2014 年の機材保有数 1,658 台から今後 5 年で廃棄が予定される 263 台を除いて算出した。

2) 定性的効果

道路維持管理の効率化

7. 今後の評価計画

(1) 今後の評価に用いる主な指標

6. (2) 1) のとおり。

(2) 今後の評価のタイミング

・ 事後評価 事業完成 3 年後

以 上